

2023年日本平和大会in鹿児島ニュースno.9



発行:2023年日本平和大会実行委員会(事務局:日本平和委員会内) 2023/10/11
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:heiwataikai@j-peace.org

平和大会で NO！ を示そう、 東アジアの緊張高める大軍拡、 九州・沖縄の敵基地攻撃要塞化

来年度予算でも次々と 11日に開催した第5回実行委員会では、千坂平和委事務局長が、24年度概算要要求で、九州・沖縄の軍事化の動きがいっそう露わになっていることを、次のように報告しました。「大分市に敵基地攻撃ミサイルの弾薬庫が建設されようとしているが、それに加えて、湯布院の陸自駐屯地に敵基地攻撃ミサイル部隊の配備がすすめられる。宮崎県の空自新田原基地に、F35Bステルス戦闘機部隊が24年度から配備され、陸自えび駐屯地に新たな弾薬庫が建設される計画が出てきた。民間港の博多港、熊本港、民間空港の鹿児島空港、宮崎空港も戦争の際に米軍・自衛隊が使えるものに改造する計画がすすめられることが報道されている。こうしたなか、14~31日まで九州・南西諸島を戦場にすることを想定した日米のレゾリュート・ドラゴン演習が、日米オスプレイ8機を投入して繰り広げられようとしている。こんな軍事要塞化を許していいのかを問い、総選挙で審判を下す力を広げる日本平和大会を、何としても大きく成功させることが求められている。」

リアル参加の到達はまだ半分程度

- ★中央団体はそれぞれ、各都道府県から1人2人と参加を広げよう
- ★都道府県(九州・沖縄を除く)は、19年沖縄大会に匹敵する参加を

鹿児島 独自ニュースを発行して参加呼びかけ

鹿児島県実行委員会は、大会を成功させようと、独自のニュースを発行。日程や魅力などを載せ、機関紙などに折り込んで参加を呼びかけています。第2号 10/8(左)では、韓国の代表の紹介、「私も参加します③」で鹿児島出身の大阪原水協の橋口事務局長の声などが紹介されています。

種子島の代表に檄布と募金を

馬毛島の基地化反対の世論と運動を全国に広げよう、また全国のたたかいから学ぼうと、種子島から16人参加します。フェリーと宿泊で1人2万数千円かかります。実行委員会では、費用を援助しようと全国に募金を呼びかけることとしました。また、檄布や寄せ書き等を持ち寄って全国から連帯のエールをとどけることもよびかけます。募金は、代表登録の際に大会事務局にお渡し下さい。(詳細は「開催要項2次」にて。明日発信します)

